

1. 調査概要

○ 子ども・子育て支援に関するアンケート調査

対 象	調査期間	調査票配布方法	備 考
未就学児童の保護者	令和5年9月25日～ 令和5年10月20日	自宅に郵送	アンケート結果（未定稿）を 委託業者より受領
放課後児童クラブ（学 童保育）利用保護者		放課後児童クラブ（学 童保育）を通じて配布	

○ 子ども・若者の意識と生活に関する調査

対 象	調査期間	調査票配布方法	備 考
小学5年生本人	令和5年12月4日～ 令和6年1月5日 ※回答期限について、 更に多くの方から意見を 頂くことを目的として、 令和6年1月26日 まで延長した。	【公立学校】 学校を通じて配布	全体的に回答率が低かったこと から、SNS等で回答期限を 延長した旨を広く周知し、ア ンケート調査への更なる協力 を仰いだ。 また、「16歳～17歳本人及び 保護者」対象の調査について は、特に回答率が低かったこ とから、調査への協力を求め る通知を別途発出した。 今後、同対象を中心に各年代 の子ども・若者に意見聴取等 を行い、当該調査結果の補完 をしていく予定。
小学5年生保護者			
中学2年生本人		【私立学校】 自宅に郵送	
中学2年生保護者			
16歳～17歳の子ども も本人			
16歳～17歳の子ども の保護者		自宅に郵送	
18歳～39歳の若者			

(仮称)川越市こども計画策定に向け実施した各調査について

2. 回答状況

○ 子ども・子育て支援に関するアンケート調査

対 象	配布数	回答状況			回答率
		WEB	郵送	全体	
未就学児童の保護者	2,400	648	412	1,060	44.2%
放課後児童クラブ(学童保育)利用保護者	3,079	938	603	1,541	50.0%

○ 子ども・若者の意識と生活に関する調査【速報値】 (令和6年1月24日時点)

対 象	配布数	回答状況			回答率
		WEB	郵送	全体	
小学5年生本人	3,178	746	510	1,256	39.5%
小学5年生保護者	3,178	775	376	1,151	36.2%
中学2年生本人	3,257	755	370	1,125	34.5%
中学2年生保護者	3,257	682	307	989	30.4%
16歳~17歳の子ども本人	800	142	64	206	25.8%
16歳~17歳の子どもの保護者	800	133	86	219	27.4%
18歳~39歳の若者	2,981	422	230	652	21.9%

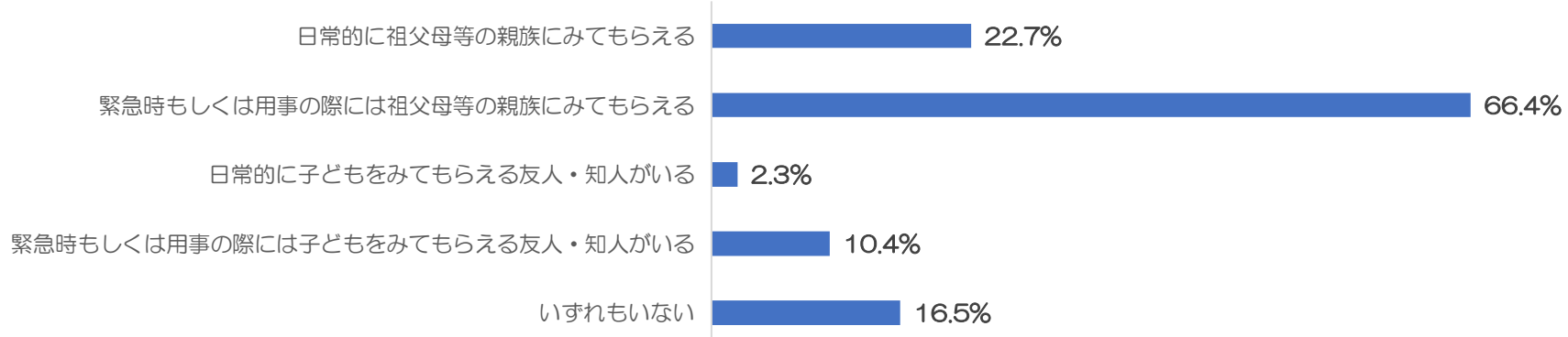
(仮称)川越市こども計画策定に向け実施した各調査について

2. アンケート調査の結果に基づく傾向等

① 未就学児保護者対象調査

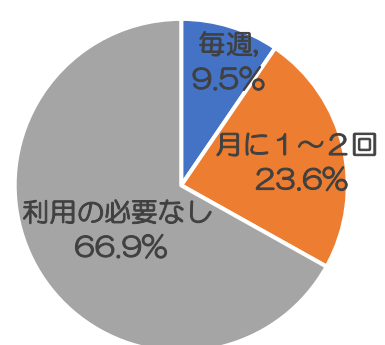
未就学児がいる世帯において、子どもをみてもらえる親族または友人等がいる世帯の状況は以下のとおりである。約16.5%の世帯で、子どもをみてもらえる親族等がないことがわかった。

※以下は複数の選択肢を選べる設問となっており、この設問への回答者の全体数 (n=1,053) に対する各選択肢を選んだ人数の割合を示している。

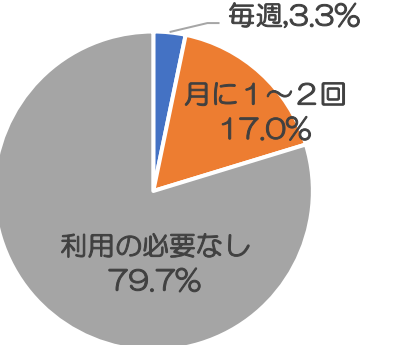


上記の状況の中、各保育事業等へのニーズについては以下のとおりである。土曜の保育利用、日曜・祝日の保育利用については、約20%～約30%のニーズがあった一方、夜間保育及び保育ステーションは「利用の必要なし」が約80%～約90%と大部分を占めた。

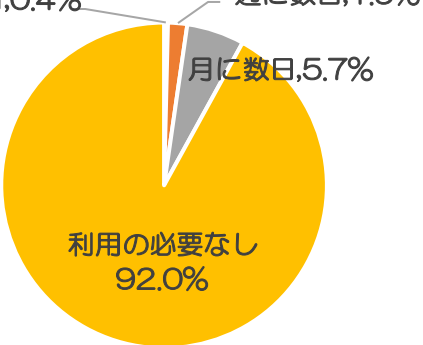
土曜の保育施設等の利用希望 (n=1,048)



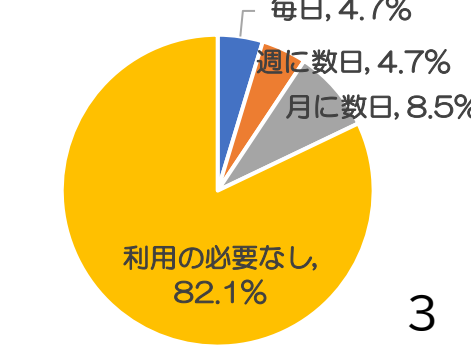
日曜・祝日の保育施設等の利用希望 (n=1,045)



夜間の保育施設等の利用希望 (n=1,049)



保育ステーションの利用希望 (n=620)



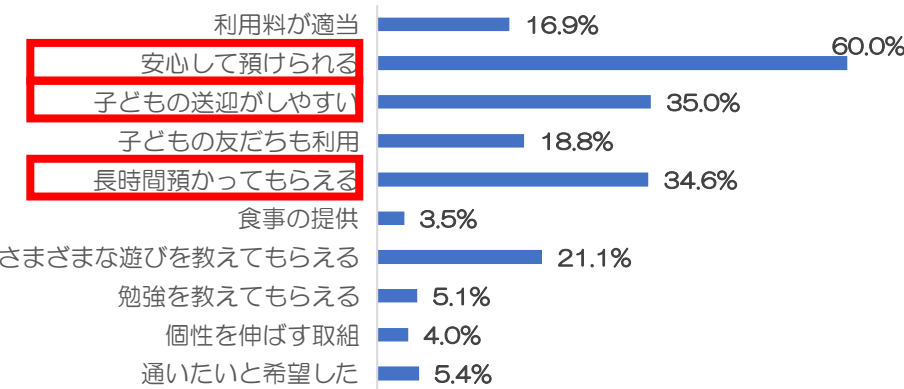
(仮称) 川越市こども計画策定に向け実施した各調査について

② 放課後児童クラブ（学童保育）利用保護者対象調査

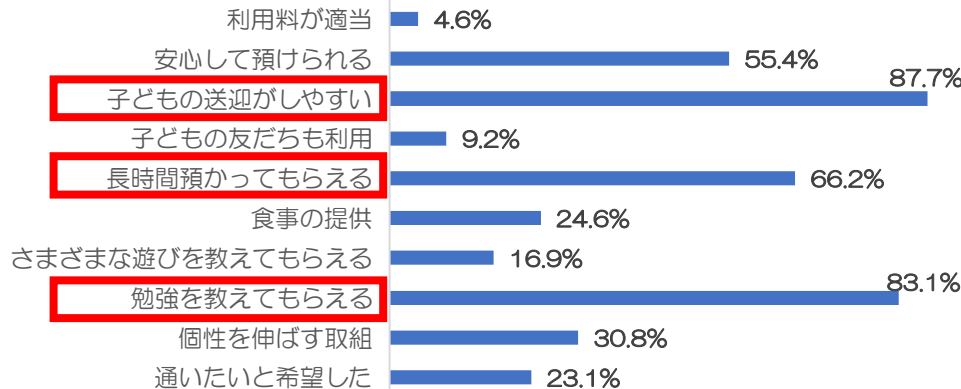
市立学童保育室と民間放課後児童クラブとで提供しているサービスメニュー等が異なるため一概に比較することはできないが、利用中の放課後児童クラブ（学童保育）を選んだ理由について、特徴として民間放課後児童クラブでは「勉強を教えてもらえる」が高いことがわかった。

※以下は複数の選択肢を選べる設問となっており、この設問への回答者の全体数（n）に対する各選択肢を選んだ人数の割合を示している。

市立学童保育室利用保護者（n=1,439）

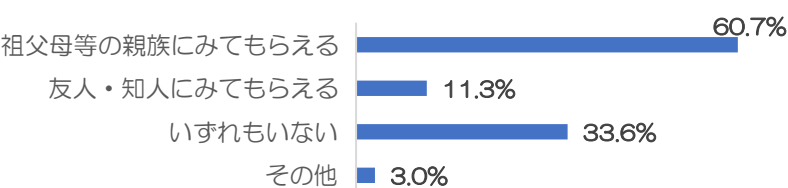


民間放課後児童クラブ利用保護者（n=65）



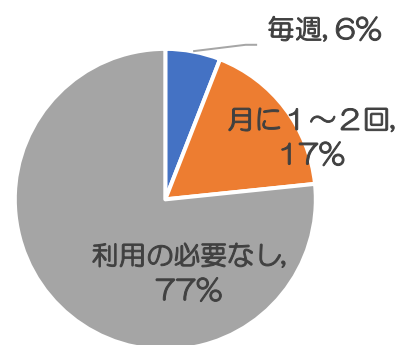
放課後児童クラブを利用している世帯において、子どもをみてもらえる親族等がいる世帯の状況は以下のとおりで、約33.6%の世帯で子どもをみてもらえる親族等がないことがわかった。そのような状況の中で、土曜及び日曜・祝日の学童保育等の利用ニーズについては、土曜については約80%、日曜・祝日については約90%が利用の必要なしという結果となった。

※以下は複数の選択肢を選べる設問となっており、この設問への回答者の全体数（n=1,502）に対する各選択肢を選んだ人数の割合を示している。

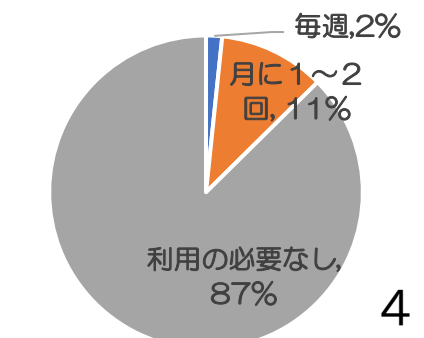


※「その他」には、「ファミリー・サポート・センター事業」や「隣人」のほか、「本当に緊急時には祖父母にみてもらえる」等があった。

土曜の利用希望（n=1,417）



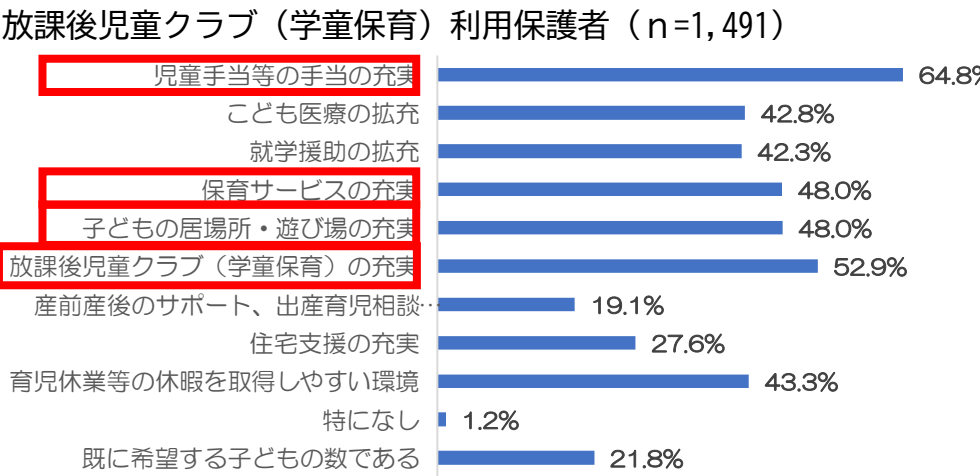
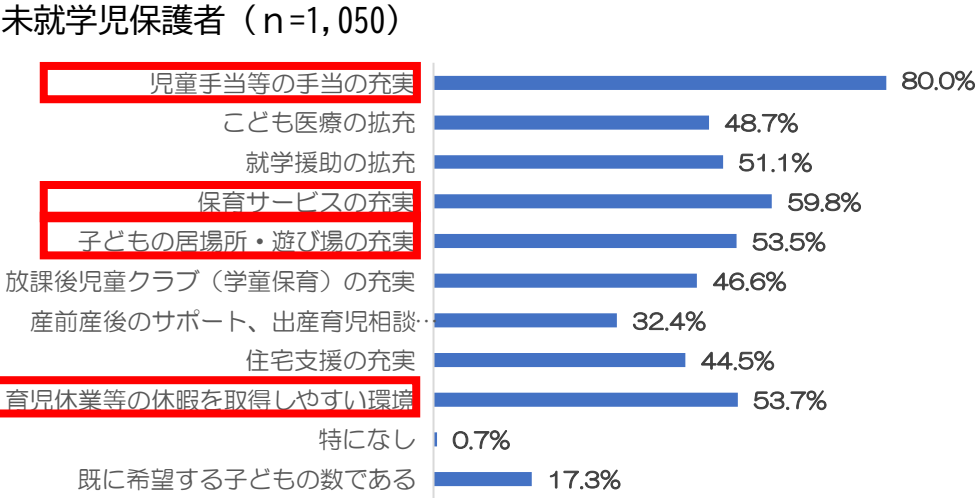
日曜・祝日の利用希望（n=1,388）



(仮称) 川越市こども計画策定に向け実施した各調査について

③ 両調査における共通設問・自由記述欄での意見

希望する子どもの数を実現するために市からどのような支援が必要かについて、特徴として未就学児保護者については「育児休業を取りやすい環境」の割合が高く、放課後児童クラブ（学童保育）利用保護者については「学童保育の充実」の割合が高くなっていることがわかった。



教育・保育施設の充実など子育ての環境や支援に関する自由意見について

保育施設関係

- ・一時預りもできる送迎保育ステーションを川越駅、川越市駅周辺に設置してほしい。
- ・保育園の情報は市のサイトに詳しく載っているが、幼稚園の情報が少ない。
- ・土日祝日に気軽に預けられる場所がほしい。
- ・ファミサポに登録しているが、実際に使うイメージがないので、事例等を紹介してほしい。等

放課後児童クラブ（学童保育）関係

- ・預かり時間を19:00まで伸ばしてほしい。また、児童を集団帰宅をさせてくれれば迎え時間が短縮されて助かる（ふじみ野市で実施）
- ・保育料を日割りにする等して、突発的な用事の際に柔軟に預けられるシステムだと助かる。
- ・学童保育以外にも子どもが気軽に行ける、滞在できる場所があったら良い。等

その他

- ・つどいの広場を今回の調査で初めて知った。周りにも知らない人が多いので、周知を工夫したら良いと思う。
- ・男性が育児に関わる積極的な仕組み作りが必要。子育て支援の場に男性も入りやすい環境づくりやネットワーキングの場があると良い。
- ・通学路で道幅の狭い危険な箇所等を通行禁止とするなど対策してほしい。
- ・公園が少ない。また室内で遊べる施設がほしい。等